

ちびっ子鬼物語 「夏休みの思い出・親子でキャンプ」の巻

※登場人物

- ① トシちゃん(笑鬼小学校の四年生です。)
- ② ユウちゃん(トシちゃんの弟で笑鬼小学校の一年生です。)
- ③ シンちゃん(昨年九月五日に生まれた、トシちゃんユウちゃんの弟です。)
- ④ お父さん(おおらかな性格で魚釣りが大好きです。)
- ⑤ お母さん(明るくて話し好きです。)

「今回の物語は、トシちゃんユウちゃんとお父さんの三人がキャンプに行きます。行き先は、秋川の上流にある「清流秋川キャンプ場」です。そこでいろいろな体験をして夏休みの思い出を作るお話です。・・・そして当日の朝。」

▼目覚まし時計の音 リリリリリン。リリリリリン。リリリリリン。：

▼お父さん トシちゃんユウちゃんおはよう。そろそろ起きないとキャンプに行くのが遅くなるよ。

▼トシちゃん キャンプに行くのが嬉しくて、夜、全然眠れなかったんだ。眠ったと思ったらすぐお父さんに起こされたんだよ。あゝ眠い。

▼ユウちゃん ぼくもお兄ちゃんと一緒に眠れなかったんだ。朝まで知ってたよ・・・

▼お母さん トシちゃんユウちゃん顔を洗って、お父さんと一緒に朝ご飯を食べてね。：

「そして、トシちゃんユウちゃんとお父さんの三人は、朝ご飯をしっかりと食べ終えてから、三人で事前に用意したテント、お米、釣り竿、花火などをもう一度確認するのでした。・・・」

▼トシちゃんユウちゃんお父さん お母さんシンちゃん行ってきます。

▼お母さんシンちゃん 一泊二日のキャンプ気をつけて行ってらっしゃい。シンちゃん笑顔で見送りです。

「さあ、お父さんの車で出発です。目的地の清流秋川キャンプ場は、僕たちの家(うち)から五日市街道に入り、上流の西を目指します。途中、道の駅「城山」で休憩を挟み、二時間くらいで到着です。」

▼お父さん この先のトンネルをぬけるとキャンプ場が見えてくるよ。：あ。キャンプ場だ！ わあゝい、わあゝい来たぞう！

「キャンプ場に到着すると、お父さんは受付を済ませてからテントを張る場所へ車で移動するのでした。お父さんは、トシちゃんユウちゃんにテントの張り方を教えながら、手際よく完成させちゃうのでした。テントと車でキャンプの基地は完成です。」

▼お父さん テントが完成したから、さあ次はトシちゃんユウちゃん、ご飯の時に食べるニジマス釣りに行くよ。トシちゃんユウちゃんは、釣り竿、釣った魚を入れるビク、餌のイクラとブドウ虫を持ってね。・・・それから二人とも帽子かぶるんだよ。

「トシちゃんユウちゃんお父さんの三人は「秋川」に向かうのでした。到着すると、川底の石がはっきり分かるほど透明で大変綺麗な川です。元気なニジマスがたくさん泳いでいます。」

▼トシちゃん 今日は、お父さん得意の毛針でニジマス釣らないの？？

▼お父さん 父さんもニジマス釣りたいんだけど今日は二人に釣り(竿)の持ち方、餌の付け方、ニジマスが餌を食べた時のあわせ方、網の使い方などを教えるから釣りはしません。：

「お父さんは、トシちゃんとユウちゃんに竿の持ち方、餌の付け方を教えます。そして二人は早速

ニジマス釣りを始めるのでした。」

▼お父さん 二人ともこの先の深い流れの中にニジマスが沢山いるよ！ほんと沢山いる！ほぐんとだ！最初の餌はイクラにしよう。針にイクラを二つ付けて。トシちゃんはある大きな岩の手前の深い所に餌を落として。ハイ。ユウちゃんはお兄ちゃんの上流に餌を落としてみて。ハイ。

「二人とも同じ場所に何度も餌を流すのですが、ニジマスは餌のイクラを食べる気配がありません。その時、トシちゃんのウキが水中に沈むのでした。」

▼トシちゃん ニジマスニジマス、父さんユウちゃんニジマス掛かったよ！

▼ニジマスの力で竿が曲がる音 キューン、キューン。

「その時、掛かったニジマスは釣り針から外れてしまうのでした。バシャ。」

▼トシちゃん やっと釣れたニジマス逃げちゃったよ。お兄ちゃん惜しい！

▼お父さん ニジマスは沢山いるけど釣れない？ 餌をブドウ虫に替えてみよう！

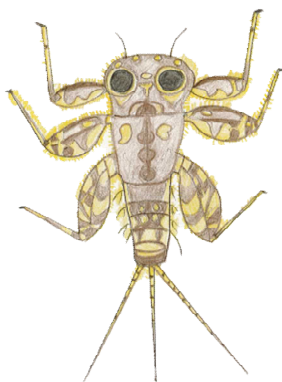
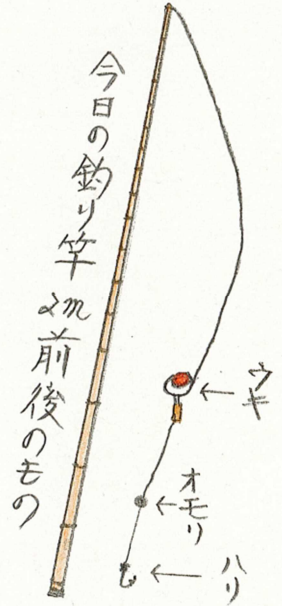
「二人は餌をブドウ虫に取り替えて、また釣り始めるのでした。」

▼ユウちゃん ニジマスニジマス釣れた釣れた！ 大っきい大っきいよ！

▼お父さん ユウちゃん、竿を持つ手をゆくり自分の胸に近づけ、竿先を後ろに持って行くと、ニジマスがユウちゃんの方に寄ってくるよ。ほんと近くに寄ってきた。父さん網ですくうよ。網に入った。

▼トシちゃん ニジマス来た。引きが強い！キューン、キューン。よくし寄ってきた。父さん網ですくって！

▼お父さん ハイ。ニジマスが網に入った。父さんまたニジマス来た！トシちゃんは、川でさつき取った水生昆虫のカゲロウに替えてみて。ハイ。父さんすぐ釣れちゃった！餌の違いだね！



「これから二人は究極の釣りの楽しさ「入れ掛かり（意味は、次から次に釣れることを言う。入れ食いとも言う）」を経験するのです。……」

▼お父さん トシちゃんユウちゃん、釣りはじめてもう一時間が経つよ。二人で二十匹位釣ったね。お昼ご飯にニジマス焼いて食べる？ もちろん食べマス！僕も食べマス！

「二人は竿を片付けお父さんはマスが入った網を持ち、キャンプの基地へ戻って行くのでした。近くの炊事場で、お父さんはマスの腸（はらわた）を取り、手際よく塩を振り処理していくのでした。」

ここまで読んで頂きありがとうございます。前編はここです。終わります。

少し休憩しましょう。後編を楽しみにしていってください。

▼お父さん さあ、お昼ご飯の準備をしましょう。お母さんがおにぎりを沢山作って持たせてくれたし、あとはニジマスを焼いて食べよう。

「お父さんは炭火をおこし、網の上にニジマスを三尾置き焼き始めるのです。ジュジュ（余分な水分が炭に落ちる音）．．そしてコンガリと焼き上げるのです。」

▼お父さん トシちゃんユウちゃんニジマスが焼けたからお昼にしよう。ハ〜イ。ハ〜イ。いただきます。いただきます。いただきます。塩加減、焼き加減は良し。

▼トシちゃん すごく美味しい！炭火で焼くとひと味違うね。モグモグ。モグモグ。

▼ユウちゃん モグモグ。モグモグ。美味し〜い！

▼お父さん トシちゃんユウちゃん お母さんが握ったおにぎりも食べよう！モグモグ。モグモグ。母さんが握るおにぎりって何で美味しいんだろ。ほんとに美味しいよね。僕も大好き。お母さんが握るおにぎりって何で美味しいのか知ってる？お母さんに聞いたことがあったんだ！．．お母さんはね。おにぎりを握りながら、美味しくな〜れ。美味しくな〜れ。と神様をお願いしているんだって言ってたよ。．．おにぎりは美味しいし、自分で釣ったニジマスも美味しいし。最高ですね。お兄ちゃんほんとだね。

「ごちそうさまでした！．．今夜もう一度食べるニジマスを三尾残し、近くでキャンプをしている家族にニジマスをお裾分けするのです。．．」

▼近くでキャンプをじていてニジマスを分けてもらった人の声 **こんなに沢山のニジマス頂いてありがとうございます。** お腹の腸（はらわた）綺麗に取ってあって美味しそうですね！上手に塩を振ってあってあとは焼くだけで食べられますね。今夜家族四人でごちそうになります。

「お腹がいっぱいになった三人は昼寝をします。．．そして、しばらくするとニジマスを分けてもらった人からいろいろなお返しが届くのです。」

▼お父さん お返しなんか良いですよ。かえって高い物になっちゃいますよ。．．では遠慮なく頂きます。「キャンプ場の中に備え付けてある大きな時計の針がもうすぐ四時を指します。．．」

▼お父さん もう四時か。楽しいことしていると時間の経つのが早いね。これから夕ご飯の準備をしようか。ハイ。ハ〜イ。夕ご飯のメニューは、カレーライス、ニジマスの塩焼きと野菜サラダにするよ。

「はじめて飯ごうを使ってご飯を炊きます。お米は三合。計量は飯ごうの外ぶたを使います。まずは飯ごうにお米と適量の水を入れお米を研ぎます。水を取り替え二〜三回行います。次に、飯ごうの内側にある二合と四合の目印の間まで水を入れます。お米に芯が残らないように三十分ほど水に浸します。最後に火をつけて飯ごうでお米を炊きます。すぐにふたは取らず十分から十五分ほど蒸らします。これでご飯のできあがりです。もう一つの飯ごうを使ってお湯を沸かしレトルトのカレーを暖めます。ニジマスを焼き、野菜サラダを作って、夕ご飯のできあがりです。．．」

▼お父さん トシちゃんユウちゃん みんなで夕ご飯にしよう。

わあ〜美味しいぞう！いただきます。いただきます。いただきます。
モグモグ。モグモグ。．．飯ごうで炊いたご飯ってひと味違うね！
カレーライスとニジマスの塩焼きと野菜サラダの組合せいいね！
キャンプで食べるのって美味し〜い！



「食事中三人は、今日の夕ご飯があまりにも美味しいので、お母さんとシンちゃんへのお土産に明日ニジマスを釣って帰ることにしたのでした。．．」

▼お父さん トシちゃん ユウちゃん

「ごちそうさま。あ〜美味しかった。ごちそうさま。ごちそうさま。さあ後片付けをしてから二人が楽しみにしている花火をしようか。ハ〜イ。やった。花火だ！」

「二人は一生懸命に後片付けをするのでした。食器はみんなピカピカです。」

▼お父さん 二人とも一生懸命後片付けしたね。ありがとう。： そろそろ花火をしようか！

「二人は線香花火等の手持ち花火、ローソク、マッチ、ゴミ袋、水の入ったバケツを用意します。そして次々と花火に点火していきます。それはそれは楽しい一時(ひととき)を過ごすのでした。：」

▼ユウちゃん お兄ちゃん！ 花火。線香花火が残り二本しか無くなっちゃった。：

▼トシちゃん ユウちゃん線香花火二本楽しんで良いよ！

▼ユウちゃん ほんとー！お兄ちゃんありがとう。： でもお兄ちゃん僕と一本ずつ楽しもうよ。

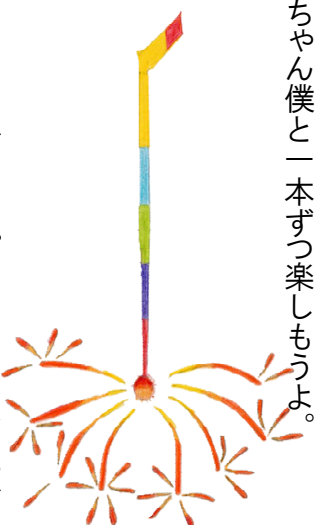
▼トシちゃん ユウちゃん線香花火に火を付けよう。

シューシュー…。

チ、チ、パ、パ、チ、チ、パ、パ、

チ、チ、チ、チ： ぽと(火の玉が燃え終わる前に地面に落ちた音)

あ〜終わっちゃった。楽しかったね！



「トシちゃんユウちゃんとお父さんは花火の後片付けをしテントに戻ります。： テントから夜空を見上げると、そこにはキラキラキラキラと輝く星空が広がっているのです。」

▼お父さん トシちゃん ユウちゃん あー流れ星☆。〇〇お願いします！お願いします！

▼お父さん トシちゃん ユウちゃん 何をお祈りしたんだい。次のキャンプは家族五人で来られるようにお願いしたんだ。

願いました。僕はお母さんとシンちゃんのお土産のニジマスが釣れるようにお願いしたんだよ。

▼トシちゃん ユウちゃん お父さんは何をお願いしたの？

▼お父さん 父さんはね。家族みんなが毎日健康で楽しく暮らせるようにお願いしたよ。：

「明日は早起きしてお土産のニジマスを釣るために今夜は早めに寝るのです。ス〜ス〜(寝息)…。そして翌朝。顔を洗い、朝ご飯を食べ、ニジマスを釣るのです。：。そしてお土産のニジマスを沢山持って家路(いえじ)につくのです。：。：」

▼お父さん お母さんシンちゃんただ今帰りました。ただ今。ただ今！楽しいキャンプだったよ。

▼お母さん シンちゃん お帰りなさい。シンちゃん笑顔でお帰りなさいです。

▼トシちゃん ユウちゃんのお土産話 これ僕とお兄ちゃん釣ったお土産のニジマス。こんなに沢山！ニジマス掛かると心臓ドキドキだよ！自分で釣ったニジマスの塩焼き、とっても美味しかった！飯「ううで炊いたご飯とカレー、最高に美味しかった！線香花火、可愛くて綺麗だったよ！…」

▼お父さん そうそう、流れ星見たんだよ！ あつという間に消えちゃうから、すかさず三人でお祈りしたよ。何をお願いしたかはお昼ご飯を食べてから、お母さんとシンちゃんに話すことにするね。

▼お母さん シンちゃん それは楽しみですね。シンちゃん笑顔でうなずきます。